

第五十九回 地方人材と郷学作興の研修会 御案内

「この研修会は、同人諸君が文字通り、洗心滌生、心を洗い生命をすすぐ集りである。穢国・悪世に住むと、その汚染を受けて、吾々の生活そのものがよごれる。これは獨り心がけをよくしても、免れ得ない。それで絶えず生きることにそのものを洗い、きれいにする必要がある。

先ず第一に初心にかえる。始に反つて、無心に反省をし、勉強することが大事である。我々は因襲になじんで初心を失つてゐる。始に反することは汚染されない昔に立ちかえることである。本當に始に反ると、吾々は何にも分つていないのだということがだんだん分る。斯う氣のつくことが、何か一つ分り出したということ、これは何よりもたのしいことである。」と安岡先生はこの研修会の性格を明らかにしています。

今回の研修会もまた、目指すところは変わりありません。
 どうか心を同じくする友人知己とともに、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

平成二十四年一月

財団法人郷学研修所
 安岡正篤記念館

記

講師・講題

吉田松陰先生とその家族―教育勅語の身近な実践― 京都産業大学教授 所 功先生
 論語に見る「教えと学び」の原点 財団法人郷学研修所 荒井 桂 所長

真向法体操指導 真向法協会准教士 手塚 理雄先生

昭和初期における安岡正篤の東洋思想 埼玉大学教授 ロジャー・ブラウン先生

『呻吟語』に学ぶ そのⅢ 財団法人郷学研修所 安岡 正泰 理事長

期 日 平成二十四年三月十七日(土) 十八日(日) までの一泊二日 受付は三月十日(土) 正午より

会場と 財団法人郷学研修所・安岡正篤記念館 〒三五五・〇二二 埼玉県比企郡嵐山町菅谷六七一
 申込先 TEL 0493-62-3375 FAX 0493-62-3366

経 路 電車Ⅱ東武東上線(池袋始発・急行で約一時間) 武蔵嵐山駅下車徒歩十五分
 車Ⅱ関越自動車道 東松山インターまたは嵐山小川インターより 約十五分(駐車場あり)

参加資格 本研修会の趣旨に賛同して、真剣に学ぶ意欲のある方

会 費 宿泊者Ⅱ一五、〇〇〇円(食事代含む)

※特別会員の方は半額の七、五〇〇円です。

※聴講のみも可。聴講料Ⅱ一日三、〇〇〇円(食事なし)

宿泊者三〇名

締 切

三月十日(土) 定員に達すれば締切り、宿泊受講者には通知します。
 ※聴講のみの方は予約不要。当日直接お越し下さい。

日 程 表

3月18日(日)		3月17日(土)	
6:00	起床		
6:30	朝参(古典素読)		
7:30	手塚 理雄 先生		
8:30	朝食		
9:30	石碑解説		
10:00	ロジャー・ブラウン 先生		
12:00	昼食・休憩	12:00	受付
1:00	安岡 正泰 理事長	1:00	開講式
2:30	閉講式	1:30	所 功 先生
3:00	解散	3:00	休憩
		3:30	荒井 桂 所長
		5:00	休憩
		6:00	懇親会・夕食
		8:00	自由時間・入浴
		10:00	就寝

ロジャー・ブラウン先生

埼玉大学教養学部教授。

専攻は日本近現代史（昭和初期政治思想史）、日米関係史。

一九八五年 イーロン大学歴史学部卒業

一九九三年 ノース・カロライナ大学大学院歴史学部グリーンズボロ校修士（米国史）課程
修了 修士号取得

二〇〇四年 南カリフォルニア大学大学院歴史学部博士（日本史）課程修了 Ph.D.取得

現在、博士論文のテーマを、引き続き安岡正篤の思想と活動に焦点を当てて、著書を執筆中。
安岡の官吏論と内務官僚に関する論文（“Shepherds of the People: Yasuoka Masahiro and the New Bureaucrats in Early Showa Japan,” *Journal of Japanese Studies* 35.2 (Summer 2009): 285 - 319）等がある。他に大アジア主義に関する史料の英訳・解説等。今後の研究課題は「海軍と政治」。

所 功（とくろ いさお）先生

京都産業大学法学部教授。法学博士（学位論文は「平安朝儀式書成立史の研究」）。
専門は日本法制文化史。平安以来の官廷儀式・祭祀の研究に取り組む。特に皇室の歴史について造詣が深い。

昭和一六年（一九四一） 岐阜県生まれ

昭和四一年（一九六六） 名古屋大学大学院文学研究科修士課程修了

昭和四七年（一九七二） 皇學館大學助教授

昭和五〇年（一九七五） 文部省初等中等教育局教科書調査官

昭和五九年（一九八四） 京都産業大学教授（教養部↓法学部）

この間、京都産業大学日本文化研究所所長を九年間務める。

平成一八年（二〇〇六） 藝林会代表

平成二三年（二〇一一） 麗澤大学比較文明文化研究センター客員教授

〔著書〕 『伊勢の神宮』（講談社学術文庫）

『皇室の伝統と日本文化』『国旗・国歌と日本の教育』（モラロジー研究所）

『皇位継承のあり方』『国民の祝日』（PHP新書）

『京都の三大祭』（角川選書）等